

自己評価に対する学識経験者の意見

平成25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価等報告書について説明を受け、質疑応答を行った結果について意見を述べたい。全体としては、殆どの項目について高い到達度を示している。これは全員参加による不断の努力の結果でありその労を多としたい。

大項目「1. 教育委員会の活動」では、(2)会議等の公開…が課題として残されている。情報の共有化という視点で今後も手法を工夫し前進を図って欲しい。また(6)①の学校訪問は、学校の教育力の向上を図る上で貴重な場として一層の充実を期待したい。

大項目2「教育委員会が管理・執行する事務」では、新富町の特色を生かした明確な教育方針を示すとともに、前年度に引き続き各学校の職員構成に十分意を用いており、各学校の教育力の今後一層の充実が期待される。

大項目3「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の(1)①では、特別支援教育の充実、新富の特徴を生かした小中一貫教育の実現に成果をあげつつある。②では、読書の町づくりが学校を中心として拡がりや深まりを見せており、他の表現活動の活発化と相俟って、豊かな人間性の育成に総合的な効果を発揮している。今後もより一層の地道な活動の積み重ねを期待している。

(2)①では、主題、内容を刷新して参加者増に努め成果をあげている。スポーツ面も含めて更に幅広い参加の実現のため、既設講座の評価やニーズ分析等により魅力的な講座の開設と運営の工夫に努めて欲しい。③イは、町内3地区別や全体での活動が展開されているが、急速な児童数減にも起因してか、やや活気の低下を感じている。内容と組織編制の両面から改善を図るとともに指導ボランティアの発掘とその活用なども工夫し、子供達が躍動する場所づくりに一層の努力を期待したい。

最後に、図書館を含む総合施設建設が最終段階に来ているようです。埋蔵文化財、図書資料等を効果的に活用するには、専門的な知識・経験と併せ高い志を持った人材の確保が肝要だと考えます。本町の当面する最重要課題の一つとして、実現への道筋を描き、実現して頂くよう願っています。

新富町大字三納代2165番地6

清 郁雄

